

ふるさと野菜のおすそ分け 通信 Vol.28 2010.2.4号

寒暖の候 如何お過ごしでしょうか。

ふるさと地域の農作業は最後に残っていた黒豆の収穫、天日乾燥、脱穀、出荷を無事終えられ、また、春に向けた土作りから始まります。山すそにはすみれ等の草木が目立つようになり春の兆しを感じさせています。

また、昨年暮れから一時的に雪は降り積もりましたが、暖冬のせいかな年々降雪が少なくなっているように感じます。

いつも出荷の時には立ち会いさせていただいておりますが、四季の感覚と自然を肌で感じさせていただき、精神的にもリラックス出来、ストレス発散には最良のロケーションと感じます。現代社会では多くの人がストレスを感じ人間も動物の一員とすることを忘れさせてしまっているところがありますので、このふるさと地域に足をお運び頂き、リラックスされて自然のエネルギーをチャージされては如何でしょうか。

西河内地区

春はもうそこまでやってきているのを感じさせる山野草たちです。



野アザミ・雪割草



スミレ・龍のひげ



ホタルブクロ



集荷場（バス停）周辺で、本当にのどかなところですよ。町営バスもご覧の通りの本数です。とにかく空気が美味しいのと水が透き通っています。時間が止まっているよう～

大野地区



大野振興会の前にマイクロバスがやってきてお年より立ちのディケアセンターに連れて行ってくれます。右の写真はお年寄りの高級車が並んでいます。



これは「狐がえり」と言う大野地区内の川谷集落の行事です。

昔から1月14日と決まっていますが、夜の7時頃から地域を周って10時頃に宿に着き、次の朝4時30分に起きて朝食にぜんざいを頂きます。その関係で今年は翌日が日曜日で休みになる1月10日に「狐がえり」が行われました。

小学校2年～中学3年生までが、川谷集落を1軒1軒歩いて回ります。男子しか参加できないので今年は6名になりました。昔は子供が多かったので長男しか参加できないと聞いています。

各々の家に行き、「ふぁ」と掛け声を言うと家の人が出てきて、子供たちにお年玉やお菓子をもらう行事です。今で言えばハローウィンみたいなものです。私の子供が最年少です。

昔からの行事なので続けていけたらいいと思いますが、子供がいなくなったら続けられるかどうか分かりません。【大野地区 お世話係 高畑さん】

狐がえり / 美山町三埜川谷区

美山町三埜の川谷区で、毎年小正月の夜に行なわれる民俗行事。きつね子と呼ばれる小中学生の男の子たちが、学生帽に黒マント、ゴム長のいでたちで、家内安全や五穀豊穰を祈り、地区内の家々を回る。きつね子は玄関先で舞を行ない、お年玉やお菓子などのご祝儀を貰う。途中で人を見かけた場合は、物陰に隠れることとされている。夜遅くまで地区内を練り歩いたきつね子たちは、宿と言われる民家で一泊し、翌朝4時に宿を出て、親の先導で道中歌を歌って、区の上と下に御幣を奉納する。かつては美山町内の他の地区でも行われていたが、今では川谷区のみに残っている。狐がえりは狐狩りとも呼ばれ、舞鶴市や兵庫県但馬地域など美山町以外にも同様の行事が行なわれている。

(南丹市総合ガイドより引用)

ご参加・ご意見・お問い合わせは下記まで ふるさと野菜のおすそ分け事務局

〒621-0008 京都府亀岡市馬路町狐瀬 20-1 (有)篠ファーム内 **購入参加者 2/4 現在 86名**

TEL0771-24-7878 FAX0771-24-7885 e-mail info@shinofarm.jp

ふるさと野菜のおすそ分け通信は右記のホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shinofarm.jp/furusato.htm>

地域の方に、お手紙などをお届けされたい場合は、事務局にお届け頂けましたら、責任を持ってお渡しいたします。